

4 9・MX-502

警告ラベル

1 警告 残りの薬剤や、洗浄水は自分のほ場内で、 被害の無い様に処理すること。 洗浄液・容器の取扱い ●使用後の機体散布装置は、十分に洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。 ●空容器は、安全な場所に廃棄すること。	2 注意 ブーム装置を立てる際は、反動をつけずにゆっくりと行い、ロックピンが確実に利いていることをたしかめること。 176776	3 注意 安全に作業するために取扱説明書をよく読んで機械の使い方を覚えてから使用すること。 点検、調整、清掃時には必ずエンジンを停止し、キーを抜くこと。	4 警告 この機械での一般道路走行はできません。トラック等に搭載して運搬すること。 176778
5 警告 飲料水源及び生物を飼育している湖沼からの直接給水は絶対行わないこと。 注意 薬剤の取扱い注意 使用する薬剤の取扱説明書をよく読んで正しく使用すること。	6 注意 高温注意 さわると火傷を するおそれ があります。	7 警告 排気ガスは、 人体に有害で す。室内や換 気の悪い所 で運転しない こと。 177411	8 注意 火気厳禁 軽油を使用の こと。 補給の際は必 ずエンジンを 停止すること。
9 注意 ●回転物に巻き込まれるのでカバーを開けたままエンジンを始動しないこと。 ●点検、整備するときは、火傷をするのでエンジンルーム内の部品が冷えてから行うこと。	10 警告 ホース巻取り操作はホースを片手で保持しながら充分注意して行うこと。	11 警告 噴霧メインコックを「噴霧」にする時は、必ず各ノズルコックが閉じていることを確認すること。	12 注意 ●走行前には駐車ブレーキを解除すること。 ●駐車時には、必ず駐車ブレーキを掛けること。
13 警告 バッテリーが破裂（爆発）する恐れがあるので、バッテリー液量不足した状態で使用・充電はしないこと。 注意 バッテリー充電、点検調整時には必ずバッテリーコードマイナス極側を外すこと。	14 注意 1.最大積載量（薬剤タンク満水と付属品搭載）以上は積まないこと。 2.乗車定員は1名です。2名以上は乗車しないこと。 3.高速走行時（副変速H）急旋回は行わないこと。 4.走行時および傾斜走行時の変速位置は、低速側（副変速L）とすること。 5.作業時および傾斜走行時の変速位置は、低速側（副変速L）とすること。 6.降坂時は必ずエンジンブレーキを併用すること。 7.運転席から離れる時は、必ずエンジンを停止しキーを抜くこと。 8.駐車時は必ず駐車ブレーキとクイック止めを併用すること。 9.危険を感じた時は、作業を中止すること。		15 警告 服装は、体に合ったものを着用して下さい。保護衣・保護マスク・保護メガネ・ゴム手袋・作業靴（長靴）等を用意し、安全な服装で作業すること。 トラックへの積み・降ろし時は次のことを必ず守ること。 1.平坦地で助手の立会指導のもとで行うこと。 2.本機の周囲に入を近づけないこと。 3.アユミ板は十分な強度と長さ、板厚のあるすべり止め付きを使用。 4.アユミ板の傾斜角度は、15度以下のこと。 5.薬剤タンク空にて、低速で積み・降ろしを行うこと。 6.積み・降ろしの途中でエンジンストールしたときは、すぐにブレーキペダルを踏み、その後徐々にブレーキをゆるめ道路まで降ろすこと。 7.積み込んだら、エンジンを停止し、変速レバーを中立以外に入れ、駐車ブレーキを掛け、指定の場所にロープを掛け本機を固定する。 ほ場への出入りには、次のことを必ず守ること。 1.ほ場への出入りは低速で、傾斜に対し直角に進入すること。 2.斜め進入は、転倒の危険があるため絶対に行わないこと。 3.ほ場への進入傾斜角度は15度以内とし、軟弱な場合は、小石やコンクリート等で地盤を固め進入路を整備すること。
16 注意 危険、熱い時あけるな。 CAUTION DANGER, never open When, hot	17 注意 指を切傷するのでファン、ベルトに触れないこと。		